

# I 区がめざす将来像をお示しします

## 1 大田区基本構想・おおた重点プログラム

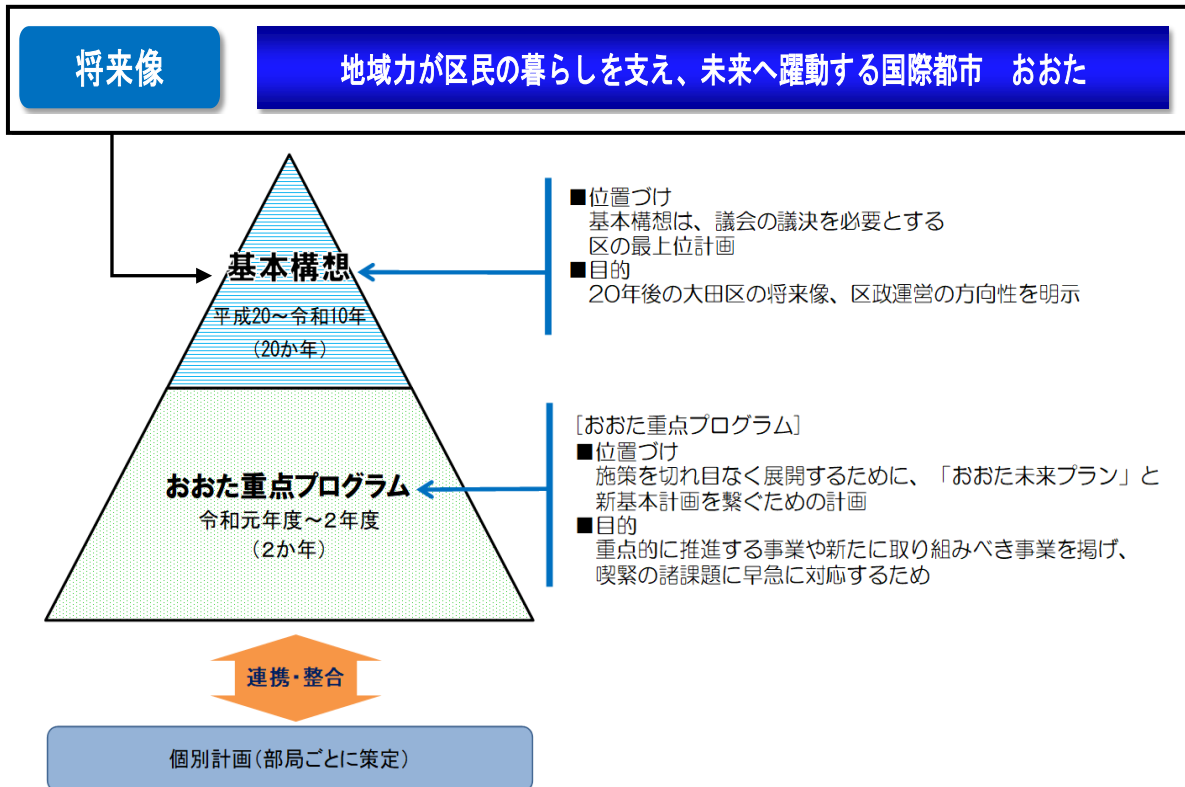
大田区基本構想（以下、「基本構想」という。）は、平成20年10月に区の最上位計画として区議会で議決されました。「基本構想」では、20年後のあるべき姿である将来像を「地域力が区民の暮らしを支え、未来へ躍動する国際都市 おおた」とし、区が行う全ての事業は、この将来像の実現に向けて実施しています。

「基本構想」を実現するため、区は、平成21年3月に施策を体系的に整理した基本計画として「おおた未来プラン10年」（以下、「未来プラン」という。）を策定し、その5年後の平成26年3月には、5年の間に生じた社会経済状況の変化を踏まえ「おおた未来プラン10年（後期）」（以下、「未来プラン（後期）」という。）を策定し、施策の推進を図ってきました。

「未来プラン（後期）」の計画期間が平成30年度末をもって終了したことを受け、未来プランの下で得られた成果や地域課題を分析するとともに、人口構成の変化やグローバル化などの社会情勢を踏まえて新基本計画を策定することとし、新基本計画策定までの間も計画的な行政運営の継続を図るため、重点的に推進する事業や新たにに取り組むべき事業を掲げた「おおた重点プログラム」を令和元年7月に策定しました。喫緊の諸課題に的確かつ早急に対応し、切れ目のない施策展開を図ることとしています。

なお、新型コロナウイルス感染症の影響により、新基本計画の策定は延期となっています。

### （1）大田区の将来像及び行政計画の体系



## (2) 「地域力・国際都市 おおた」をめざして

区は、「基本構想」に掲げる将来像の実現に向けて「地域力」と「国際都市」の2つのキーワードを区政推進の理念としています。

「地域力」とは、区民一人ひとりの力を源とし、複雑多様化する地域課題に区と地域が連携して取り組むことで、魅力ある地域を創造していく力と定義しています。

「国際都市」とは、「人・もの・技術を世界に送り出している大田区が、都市と人々をつなぐ役割を担う姿」とし、地域力と同じく区の将来像に掲げているものです。

引き続き「地域力」と「国際都市」を柱とし、さらに魅力溢れるまちづくりを進めていきます。



### (3) おおた重点プログラムの基本目標別決算額

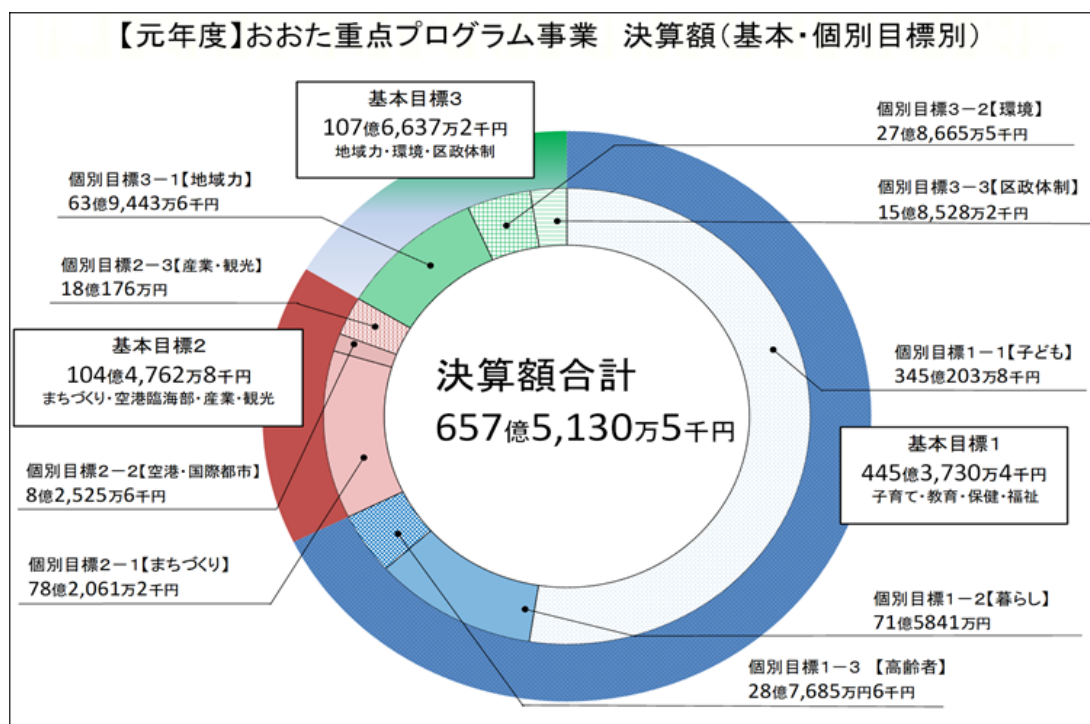
「おおた重点プログラム」は「子育て・教育・保健・福祉領域」、「都市基盤・空港臨海部・産業領域」、「地域力・環境・区政体制領域」に区分し、それぞれの領域ごとに基本目標と個別目標を掲げ、将来像の実現を目指しています。

令和元年度の主な事業における決算額は、基本目標1『生涯を健やかに安心していきいきと暮らせるまち』では、私立（認可）保育園の整備に215億9,906万円、学校教育環境の整備に25億5,717万円、障がい者総合サポートセンター（さぽーとぴあ）の運営・充実に8億386万円などとなっています。

基本目標2『まちなかの魅力と産業が世界に向けて輝く都市』では、拠点公園・緑地の整備に16億3,297万円、羽田空港跡地の整備・機能充実などに2億9,623万円、工場の立地・操業環境の整備に9億7,903万円などとなっています。

基本目標3『地域力と行政の連携がつくる人と地球に優しいまち』では、呑川水質浄化対策の推進に4億724万円、徹底した分別によるリサイクルの推進に19億5,253万円、公共施設の多機能化・複合化の推進に13億4,846万円などとなっています。

おおた重点プログラム事業の成果は、「主要施策の成果※1」において公表しています。



#### 《用語解説》

##### ※1 主要施策の成果

地方自治法第233条第5項の規定に基づき、毎年度主要な施策の事業内容と決算額を分野ごとに取りまとめ、「主要施策の成果」として公表しています。

## 2 大田区の人口

### (1) 大田区の人口増減

令和2年1月1日時点の人口は734,493人、前年から4,959人の増となっており、特別区の中で3番目に多くなっています。

人口構成では、年少人口（0歳から14歳）が10.89%、生産年齢人口（15歳から64歳）が66.49%、老年人口（65歳以上）が22.62%となっています。特別区合計と比較すると、老年人口の割合がわずかに高くなっていますが、全国合計と比較すると年少人口、老年人口の割合は低く、生産年齢人口の割合が高くなっています。

また、年齢3区分ごとの増減としては、老年人口に比べて生産年齢人口の伸びが大きくなる一方で、年少人口が少なくなっています。

(単位：人)

		合計	年少人口 0歳から14歳	生産年齢人口 15歳から64歳	老年人口 65歳以上
大田区 (令和2年1月1日現在)	人数	734,493	80,020	488,363	166,110
	割合	100.00%	10.89%	66.49%	22.62%
大田区 (平成31年1月1日現在)	人数	729,534	80,325	483,584	165,625
	割合	100.00%	11.01%	66.29%	22.70%
増減	増減数	4,959	△305	4,779	485
	増減率	0.68%	△0.38%	0.99%	0.29%
特別区合計 (令和2年1月1日現在)	人数	9,570,609	1,081,700	6,440,837	2,048,072
	割合	100.00%	11.30%	67.30%	21.40%
全国合計 (令和2年1月1日現在)	人数	127,137,969	15,528,262	76,122,894	35,486,813
	割合	100.00%	12.21%	59.87%	27.91%

※住民基本台帳に基づく令和2年1月1日現在の人口にて比較。

※年齢不詳者を含んでいない。

### (2) 日本人・外国人内訳

大田区における外国人人口は25,287人であり、特別区の中では7番目に多くなっています。総人口に占める割合としては3.44%であり、特別区合計を下回る数値となっていますが、全国合計と比較すると多くの外国人が住んでいることとなります。

(単位：人)

		合計	日本人人口	外国人人口	外国人人口の 割合
大田区		734,493	709,206	25,287	3.44%
特別区合計		9,570,609	9,084,642	485,967	5.08%
全国合計		127,138,033	124,271,318	2,866,715	2.25%

※住民基本台帳に基づく令和2年1月1日現在の人口にて比較。